

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容ごとに部屋を分けて、適切に行っている。大きな活動室もある
	2	職員の配置数は適切であるか	○			しっかりと配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		1階玄関にはスロープがある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員が業務をする中で、改善部分を共有し、対応をしていくようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを通してご意見を伺うとともに評価表をもとにニーズを把握し改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			保護者等向けの評価表(保護者アンケート)を真摯に受け止め、業務改善を進めている。第三者による外部評価は実施していないが、評議員会、理事会を機能させるとともに、リスクマネジメントについて法人全体の第三者委員会が行われている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			必要な研修に参加している 月1で職員会議をし意識を共有している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			聞き取りをしっかりとすることで、本人と保護者のニーズ・課題を分析し、積極的に計画に入れている。コロナ禍での対応で書類のやり取りのみ実施させて頂いていたが、今年度後期は面談の希望がある方へ実施していく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		現場の状況を踏まえつつ参考にしていきたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当を決め計画する。それをチームに伝え最終的に全員で立案していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			人気企画を多く取り入れている。現在は感染リスクの少ない活動を行っているが、新たな企画も考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々の課題に合った支援方法を考え、職員共通の理解で関わるようにしていく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			常に子どもの様子を観察し、丁寧に計画を作っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		全体で話せないこともあるが、伝えあうよう心掛けている。丁寧な支援につなげていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		保護者とのやりとりは必ず共有するよう心掛けている。支援の振り返りもさらに詳しくやっていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			確実に記入している。 これを見れば共有できるものとして活用している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的に今後も検討を進める
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○	組み合わせようと考えていく
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		積極的に参加しその子どもの状況を担当者間で共有し、いかしていく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校と保護者との情報共有は、今後も積極的に行っていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	受け入れてはいない。突発的な怪我の後のフォローはやっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援センターとの連携をはかっている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在、対象者がいない。 サポートファイルの利用を進めていくことで長期支援に役立つと考えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		常に連携を取り助言を頂く等し、支援にいかしている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	コロナ禍で交流を持っていないが、いずれは地域と交流機会を作りたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		柏市のこども部会等に参加し、関係情報の入手や関係事業者との交流、情報共有を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		電話や送迎時に話をしており、子どもの様子を共通理解し、同じ支援をしていけるように、取り組んでいる
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	困り感の相談を受けた際には個別には支援の方法などをお伝えしている。保護者会等を開催した際に関わり方など話していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		新規の方には重要事項説明書にそってお伝えしている。また質問があれば丁寧に答えしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		悩みや相談を常時受け付けている。送迎時や電話でお答えし、丁寧に助言するよう心掛けている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナ禍で保護者会を開けていないが、感染終息後は、保護者同士の関われる場の提供をしていく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情担当を決めており、さらには内容を職員で共有し、対策している。場合によっては管理者会議等でさらに丁寧に考えている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、案内やニュースでお伝えしている	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		厳重に配慮している	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個々に合わせた対応を常に心がけ、配慮している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	フェスタなどの催しを法人で企画していたが、感染拡大防止のため開催できていない。収束したら再開していきたい。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルの策定はできている。周知にさらに力を入れていく。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		大型地震等の自然災害発生時における業務継続計画(BCP)に基づき、定期的に訓練し、災害等にそなえている
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人として、WITH US 施設長を虐待解決責任者、各事業所の管理者等を虐待防止受付担当者とする虐待防止委員会を、管理者等の会議である戦略会議において開催している。事業所では、虐待防止受付担当者をもとに、法人の虐待防止委員会の議事の伝達、並びに各種研修参加者による伝達研修を実施するなど、虐待に対する意識を向けられるようにしている。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束は至ることはこれまでにないが、児の生命にかかわる事が予想される児を受け入れる場合は、支援計画に記載し保護者の同意を得ることとしている。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		二重チェックをする等、厳重に注意を払って対応している。母から対応を伺っている。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例をしっかりと職員間で共有し、対策を考え、記録を残している	